



こんなとき どうしよう!?

何を言っても「いや!」手助けしてあげようとする「じぶんで!」
こんな姿に戸惑うことはありませんか?
でも「いやいや」の始まりは、自己主張をする力が備わってきた証拠です。
「いやいや」の中身はさまざまですが、うまくつきあえるといいですね。

**子どもの思いを受け止めてあげましょう。自分の事をわかって
くれるというだけで、気持ちが落ち着くこともありますよ。**

— いやいやの原因がわからないとき —

思いあたることを言ってみては
どうですか?



— それでもだめな時 —

その気持ちを受け止めて
あげましょう。



〇〇したかったのね



いやだったのね

こんな方法もあるよ!

たとえば公園で...

「まだ帰いたくな〜い!」



家に帰ってごはんを
食べようか?

あと一回したら
帰ろうね!

気持ちの切りかえが出来るような
言葉をかけてみましょう。

「自分でやりたいんだけどできない!」



自分で
着たかったのね

ちょっとだけ
お手伝いしても
いいかな?

さりげなく手助けをしながら、子どもが
自分で出来たことはいっぱいほめて
あげましょう。



だめな事はだめと伝えていくことも大切です!

危険な事やこれは譲れないということもあります。「これは〇〇だから
やめようね」となるべく簡単な言葉で伝えていきましょう。